

## ご存知でしたか？不燃物処理施設についての公聴会が開かれました！！

10月24日（日）に野田市都市計画公聴会が市役所8階大会議室でありました。

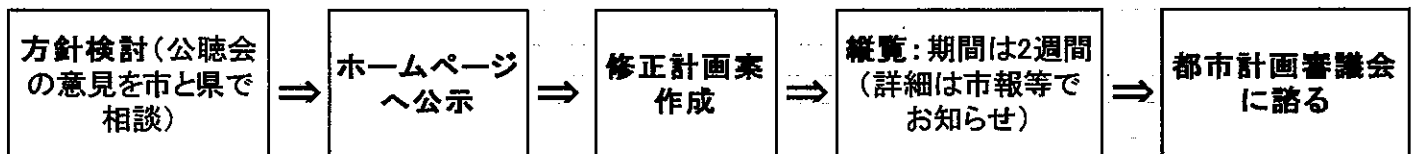
不燃物処理施設について、3人の公述人がそれぞれの意見を述べました。

Aさん：関宿クリーンセンターや不燃物処理施設の稼働期限が迫ってきていることから、両施設を同一事業場に建設する努力もなしに別々で建設しようとしている。また、20～30年後のごみ処理まで見越した計画になっていないなど。

Bさん：不燃物処理施設の建設であるが、可燃ごみ処理施設と一体化すべきと考える。

Cさん：設備の公害対策について、満足できるものではない。業者から出された仕様書や検討書をチェックするだけでは不十分である。また、そこで働く人の健康管理や周辺住民の健康管理についても対応策を取るべきと考える。

### 今後の予定



\*清掃行政は、市民全体の問題としてみんなで考え意見を出していきましょう。

## (有)柏廃材処理センター公害問題 毒性の化学物質が出ていた！

5月26日から7月13日まで柏廃材処理センターの廃棄物保管庫、センターから南西160m（住宅1）、西300m（住宅2）、北北西90m（住宅3）、西北西3500m（大気汚染常時監視測定所）で測定した無機性ガスやVOC（揮発性有機化合物）の分析結果が出た。それぞれ指針値の数倍から数十倍のVOC（揮発性有機化合物）が出ていたことが判明。県は「廃棄物保管庫で多くの物質が定性的に検出され、廃棄物の保管、破碎に起因するVOC（揮発性有機化合物）が発生していることは確認された。」と認めたものの「廃棄物保管庫のVOC物質を多く含む空気は、燃焼用の空気として焼却炉に誘因されているため、燃料施設によりほとんど分解されていると考えられる。」と結論付けている。しかし、現実には『VOC』がでていたこと、『引火性の強いアセトン』が検出されたことと、『毒性が強いo-ニトロフェノール』がなぜ検出されたのか調査が必要と専門家が指摘した。このことをふまえて詳細な調査を要

請するために「被害者の会」と「大気汚染から生命を守る会」が10月29日に県や市に申し入れ書を提出した。それに対して11月18日の県や市からの回答は、「これから調査をしていく」ということにとどまった。被害者の会の申し入れにこれまでの調査や分析は充分でなかった。現在も健康被害は続いている。毒性の化学物質が出ているのだから、早急に改善すべきだ。



県の回答に対して、再度申し入れをする地元自治会と被害者の会（11月18日）